

Yokohama Industries Americas Ohio Inc. CSRレポート

事業内容: 自動車用ホース、ゴム窓枠用シール材、工業用型物ゴム部品の生産・販売

敷地面積: 73,700m²

従業員数: 78人 (2013年3月末現在)

所在地: 474 Newell Street, Painesville, Ohio 44122 U.S.A.

相談・苦情などの受付窓口:

TEL: 440-352-3321 FAX: 440-352-6975

メールアドレス: hirotanimura@mta.yrc.co.jp



COOご挨拶



Cory Brusman

Yokohama Industries Americas Ohio Inc. (YIA-OH) は、今年2014年4月に旧YH America Inc.と合併してできた会社で、従来はサスラパーという名称でした。サスラパーの創業は1937年と古く、自動車用補修市場向けゴム部品の会社としてスタートしています。1992年に横浜ゴムの一員になった時点で、従来のインダストリアル部門に新たにホース部門を設立しました。

現在インダストリアル部門では、異形押出しおよび加工技術による大量輸送向けの窓枠用ガスケット、ドアエッジ、シール材などを製造し、大手のバス、車両会社に納入しています。今年からはソルトバス加硫装置、シリコン加硫装置、ゴム押出機等の設備を追加して、特に最近、環境問題への解決策として見直されつつある大量輸送システムの需要拡大へ対応し、また新規商品を積極的に拡大していきます。ホース部門では自動車用パワーステアリングおよびエアコン用ホースを製造し、トヨタなどの日系自動車メーカーやGMなどのデトロイト3(ビッグ3)に納入しています。エアコンホースでは、内面が樹脂で冷媒ガスの透過を抑えたベニアタイプに加え、樹脂を両側のゴム層でサンドイッチ構造としたいわゆるバリアタイプと呼ばれるエアコンホースをはじめとして、より環境に優しい新冷媒への対応ホースも開発して市場の要

求に応じていきます。

環境マネジメントシステムISO14001は、2007年12月に取得しました。2006年から始めた省エネプロジェクトも継続的な活動として定着し、工場用水では、クローズドシステム化による再利用、ガスではボイラーのプリヒーティング、蒸気漏れ修理、蒸気配管の保温等による効率アップ、電力では不要時の機械停止、省エネ電球への転換等で大きなエネルギー削減を達成してきました。日本に比べると遅れていたゼロエミッションについても、2012年からリサイクル率を向上させるプロジェクトを開始し2017年にゼロエミッションを達成させるべく活動を行っています。地域の一員としては、グリーンウェーブ活動の一環として2009年、2010年と地元の小学校に対し植樹支援のために樹木の寄付を行ってきました。さらに、2011年は横浜ゴム千年の杜活動として、サスラパーの敷地内に従業員とその家族、地域の関係者によって約600本の植樹を行いました。植えられた苗は、冬の寒さに耐えてしっかりと成長しています。そして2012年からは、地元Painesville市の環境事業への支援と、日系企業の一員として当地の日本人会の桜植樹活動(1996年から続いているもので今年、外務大臣から表彰をうけた活動)に植樹のための寄付も継続して行っています。YIA-OHは、横浜ゴムのGD100のスローガンである「トップレベルの環境貢献企業」になるために、このような環境保全活動を全従業員が一丸となって進めていきます。

労働慣行

労働安全衛生(安全衛生方針、安全衛生への取り組み)

安全は、すべてに優先する項目として位置付けており、3Sを基本として危険域には入れない、機械稼動中は手が出せない対策を実施し、何か異常と感じた時は、STOP・CALL・WAITを徹底することにより安全度の向上を図ってきました。2013年からは、リスクアセスメントに取り組み、まずレベルV(高リスク)の設備に対策を施し、よりリスクの少ない設備、職場環境をつくり上げていきます。また、安全に対する意識の向上策としては、毎年従業員全員対象の安全意識教育を実施しており、新たな従業員に対してはコンピュータを活用した安全教育を取り入れています。

環境方針

- (1) すべての活動分野で環境に配慮した施策に取り組みます。
- (2) 環境マネジメントシステムを構築・強化し、継続的な改良活動と最新の技術、コスト効率の高い解決策によって環境汚染の防止に努めます。
- (3) 法律や直轄機関の定める要求、その他の環境規則に従います。
- (4) 廃棄物の削減、リサイクル、再利用などを通じて汚染防止目標を設定し、天然資源の保護に努めます。
- (5) 省エネルギー活動、エネルギー効率の改善、再利用できるエネルギー源の優先使用などを通じて、エネルギーの有効活用に努めます。
- (6) 環境保全に貢献し、従業員の教育と訓練計画などの環境情報を提供します。
- (7) ビジネスプロセスの継続的改善に努め、環境マネジメントシステムによって環境目標を設定し、年一回見直しを行います。

環境データ

項目	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	
廃棄物発生量(t)	178	143	109	221	108	
埋立率(%)	66.7	90.5	98.2	98.2	47.2	
エネルギー使用量 (原油換算:kl)	電力	912	986	873	919	799
	燃料	498	493	427	403	372
	合計	1,410	1,480	1,300	1,322	1,171
温室効果ガス排出量(千t-CO ₂)	2.9	3.1	2.7	2.8	2.5	
水使用量(千m ³)	3.4	3.9	3.4	2.7	7.2	

※年度：1月～12月
 ※温室効果ガス排出量の算定は、日本国の環境省・経済産業省発行の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルを使用した。

コミュニティへの参画及びコミュニティの発展

地域社会とのかかわり

2012年からは、地元Painesville市の環境事業に積極的に関与し支援を行っています。

また、当地の日本人会JANO (North Eastの日本人会) が1996年から行っているCleveland市での桜植樹活動。この活動は2012年に外務大臣賞の栄に輝いた意義のある活動で、これからも継続して植樹が行えるよう、2012年から寄付を行っています。

地域への義援金活動としては、United Way (Ohio地域の昔からの義援金活動)、Project Hope (Painesville市のホームシェルターへの義援金活動) にも支援の寄付を行っています。

